



県支部協議会第24回総会 10月31日にWeb方式による開催を決定

第5回地区協代表者会議(9月14日Web方式)で提出議案説明

第五回地区代表者会議は、今回もWeb方式で行われ、第二十四回県支部協議会に提出する議案について説明を行いました。

冒頭、本年四月から事務局次長として頑張つてこられた大和修君(福島地区協)が、一身上の都合により退任されることになり、本人から挨拶がありました。伏見会長から、各地区協の取り組みに対するお礼の挨拶があり、続いて執行部より提出議案の説明がありました。

第二十四回県支部協議会は、十月三十一日、Web方式で開催することになり、主な議案は次の通りです。

一、組織拡大の取り組み
全国的にも加入率が低下している中、福島の加入率は八十九%と高水準でした。今後、もグループ連絡会と連携し、全員加入を目指し取り組みをいたします。

二、コミュニケーションの充実・強化
「県協ニュース」で地区協活動や、会員の趣味等の紹介を積極的にを行います。

また、レク行事的実施に当たっては、より一層会員の安全、健康を第一に考えた開催方法、人数等を考慮した企画を行います。

油断のない日常生活を送ろう!



三、会員動向調査の実施

一人暮らし・夫婦二人暮らしの会員が増えていきます。「仲間同士の助け合い」を意識し、会員間の交流を進めます。

四、自然災害の被災状況

本年三月に発生した地震で二百四十四件の被害申告があった中で、共済未加入が五十六件あり、改めて電通共済への加入や増口について真剣に考えなければなりません。

五、「福島県支部協結成五十年のあゆみ」の取り組み

二〇二四年二月には、結成五十年をむかえるに当たり、記念行事の開催に向け、準備を進めることとします。

退職者の会中央協議会 第二十四回全国総会開く

NTT退職者の会中央協議会の第二十四回全国総会が九月二十八日大阪で開催されました。福島県支部協は「書面決議」の参加としました。

活動を振り返って

一、ウクライナ緊急支援キャンペーンは、一千九十九万円の寄付を集約し、「特定非営利法人難民を助ける会」と「国連難民高等弁務官事務所」の二団体へ寄付しました。

二、会員拡大の取り組みは、全体の加入率が初めて五十%を下回り、また、退職者の会発足後初めて年間の会員数が減少となりました。

今年度の会員状況は、二〇二二年六月時点で十二万五千八百三十九名、昨年六月比で八百十三名の減員となりました。

今年度の取り組み

一、会員拡大に向け、退職予定者の全員加入を目指します。また、七十歳までの雇用継続延長も意識し、継続雇用者の「会」加入勧奨へ向け、組合員継続を優先としつつ、準会員制度などについて検討を進めることとします。

【以下四頁下段に続きます】

全国交流集會に参加して

白河地区協議会 渡辺 美夫



ノンフィクションライターの講演を受ける

六月十五日、十六日の二日間、東京両国の第一ホテルで開催された全国交流集會に、県支部協の大和修事務局次長と参加してきました。

二人とも初めての参加で、コロナ禍の中、東京見物するつもりで会場に入りました。

初日は挨拶の後「退職者の会の概要と当面の課題」と題し、ノンフィクションライター高橋真樹氏の特別講演で終わりました。

待ちに待った夕食会ですが、テーブルがパーティションで区切られ、テーブル以外の参加者

で、参議院選で「石橋みちひろ」を三度参議院に送ることができました。皆様のご支援に感謝申し上げます。しかし、今回の得票数は、前々回、



「石橋みちひろ」三選を果たす!

前回から激減し続けたことに強い危機感を持ち、組織全体での検証と分析が必要です。今後も私たち国民の代弁者として国会で活躍できるよう、引き続き皆様のご支援をお願いします。

との懇談はお控えくださいとのことでしたが、それにもめげず、栃木から参加の二人と、大和さんの部屋で二次会を開き、交流を深めました。

二日目は分散会で「会と会員のコミュニケーションの充実」のテーマで、フリー討論となりました。各支部協から共通の問題として、コロナ禍での



の仕方、会員の減少についての意見が出されました。どの支部協でも同じ悩みを抱えていることを再確認しました。最後に、石橋みちひろ参議院議員から決意表明があり、解散となりました。その後福島島の二人と栃木の二人は、浅草に寄り道したのは言うまでもありません。今回参加して感じたことは、退職者の会の抱える問題は、全国共通ということ。会員皆様のご協力をお願いします。

「グラウンドゴルフ」サークル

会津地区協 小林 正英

退職しても「楽しく元気に長生きしたい」と20数年前に結成され、会津大会や県協議会大会に向けて多くの会員が張り切って参加してきたグラウンドゴルフサークル「さつき会」は今も健在です。

ここ2～3年はコロナ禍により一時中断するなど、参加者の減少はみられるところですが、常設会場となっている会津美里町「せせらぎ公園」へ毎週火曜日午前9時、元気な「おはよう」の声で集まっています。

そして川風を受けながら、さわやかな朝の空気を思う存分吸いプレー開始。直ぐに「何年やっても上手にはならないな」「今日は草が伸びているからな」等などの言い訳が聞こえてきます。一方「ホールインワン」が出れば、大きな声ではしゃぎまわります。その姿は、既に古希を超えた高齢者たちとは思えませんし、見えません。



毎週火曜日は、自ら打ったボールを追いかけ、健康を追いかけ「自分のこと、仲間の近況」でお喋り続ける午前中です。

退職者の会サークル、グラウンドゴルフ「さつき会」は、何歳になっても楽しむことができる「運動と親睦の場」になっています。(写真は大変懐かしい14年前の1枚です)

地区協活動報告

グラウンドゴルフサークルの活動

いわき地区協 藤原 一秀



5月、令和4年度第15回総会を無事に終えました。

表彰は、年間最多ホールインワン賞、ダイヤモンド賞、参加日数に応じ、皆勤賞、精勤賞、そして前事務局長の長年の功績を讃え、表彰しました。

例会は月2回、マスク着用で実施しています。その中でコンペを年4回実施し、1位、2位、3位の表彰をしています。

現在の会員は男性8名、女性10名です。高齢化が進みリタイアする人もいる中、嬉しいことに60代女性2名、70代男性に会員になってもらいました。

会員のほとんどがいわき市協会の各クラブに所属しており、大会で入賞、特に女性は上位入賞する程です。

県大会がコロナ禍、2年連続で中止になりました。楽しみにしていただけに残念です。

その他の大会は、いわき地区高齢退職者の会主催の大会と、年2回の平ろうきん友の会主催の大会に参加しています。

これからは、上手な80代の人を見習い、60代の人にはグラウンドゴルフの楽しさと、エチケット・ルールを守ることの橋渡しをしていきたいと思っています。



訃報 (2021年7月1日～2022年6月30日まで)

〔福島〕
天城 容子
浅野やへ子
伊藤 滋見
永塚 照史
遠藤ミヨ子
菅野善次郎
桑原 徳子
佐藤 チヨ
佐藤八重子
清野 隆吉

清和 富子
丹野 徳秋
富田 力夫
中野礼二郎
八木 トミ
山口 澄子
渡辺キヨ子
渡部 道彦
〔二本松〕
伊東 幸
小野 芳子

鈴木 伸一
二階堂ミチ
二階堂有子
〔郡山〕
柴田喜八郎
高橋富美男
豊田 茂
藤谷 政宏
本田 富子
〔白河〕
木村 一郎

根本 誠
渡辺キミ子
〔石川〕
小針 節子
吉田 ふみ
〔三春〕
熊谷 幸子
佐藤 ユキ
早川 弘子
会田 弘

〔会津〕
五十嵐昭子
石田 和夫
伊藤 公雄
稲村 光永
大島 恵子
小林テイ子
千川原光輝
土屋 怜
東条 久子
矢田部澄子

丸山 鉄雄
〔いわき〕
伊藤 泄子
作山 一郎
佐藤 友子
中村 幸子
緑川 正夫
横田 丈志
吉岡 雅枝
吉田 一成
〔南相馬〕

草野 四郎
紺野マサ子
増田 直宣
渡辺 弘寿
〔相馬〕
佐藤 建雄

福島県協発展にご尽力頂き
ありがとうございました。
慎んでお悔やみ
申し上げます



ボールよ私の言う事きいてくれ

相馬地区協 鶴岡 享治

「ナイスショット」と青空のもと元気な掛け声が響きわたります。パークゴルフ場では相馬退職者の有志による練習が



毎週水曜日に行われています。

相馬には、松川浦パークゴルフ場と光陽パークゴルフ場の2カ所があり、連日どちらの会場も市内はもちろん、県外からのプレイヤーで一杯です。

松川浦パークゴルフ場が国際パークゴルフ協会から公認コースと認定されたのが2000年（平成12年）の8月であり、我地区協が会員の健康と親睦を図るためには、楽しんで身体を動かせるものが良いとの結論に達し、それにはパークゴルフが最適と判断したことが、当時の総会議事録に記載されておりまして。

パークゴルフの会員を集い、第1回パークゴルフ大会を開催したのが2001年（平成13年）7月20日でした。優勝者は当地区協では数少ない女性であることが優勝カップに付けられているリボンから伺い知ることができます。当時の退職者会員は50名弱ですが、パークゴルフを楽しもうと思って実践した方々がいるおかげで、先日第76回大会が開催できたことに感謝したいと思います。これからも健康と親睦を図るために、退職者の皆さんに声掛けをしていこうと思いました。

ちなみに光陽パークゴルフ場は2007年（平成19年）4月に公認コースとして認定されています。

グラウンドゴルフ交流会を開催

南相馬地区協 鈴木 茂

今年も新型コロナウイルス感染の拡大は、私たちの生活や活動に大きな影響をもたらしています。

こうした中、年間活動計画にもとづき、取り組みを進めているところです。地域においてもボウリング大会やパークゴルフ大会の取り組みが計画されています。

去る5月24日には、恒例となったグラウンドゴルフ交流会を、仲町いこいの河畔公園で開催しました。交流会には、南相馬・相馬地区退職者・電電原町 OB グラウンドゴルフクラブから26名の参加があり、晴天の下で楽しく親睦と交流を深め合いました。ホールインワンが出るたびに歓声上がるなど、和気あいあいとプレーが行われました。

また、スコア集計の合間にはホールインワン大会を行うなど、楽しい1日となりました。

男女別の競技の結果、男性の部は、岡本清義さんが、女性の部は、宮川千恵子さんが優勝しました。



会員動向調査の結果がまとまりました

会員皆様のご協力により「会員動向調査」の結果が左表のとおりまとまりました。この中で特徴的な点は、一人暮らしが二一七名（昨年二〇九名）夫婦二人暮らしが七二二名（昨年六六八名）で、合わせて四三三・三％（昨年三九九・九％）が高齢者世帯であることです。不慮の災害発生時には固定電話が不通になる可能性が極めて高く、携帯電話が大きな役割を果たします。一人でも多くの方に携帯電話番号を記入していただくよう、呼び掛けていくこととします。

会員数：2022.04.04 現在

| 調査項目 | 福島 | 二本松 | 郡山 | 須賀川 | 白河 | 石川 | 三春 | 会津 | いわき | 南相馬 | 相馬 | 合計 |
|------------|-----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|-----|-----|----|-------|
| 会員数 | 643 | 125 | 346 | 100 | 136 | 90 | 75 | 447 | 391 | 104 | 51 | 2,508 |
| 配布枚数 | 586 | 119 | | 100 | 136 | 89 | 75 | 446 | 390 | 100 | 51 | 2,092 |
| 回収枚数 | 483 | 94 | | 86 | 103 | | 56 | 253 | 389 | 98 | 20 | 1582 |
| 一人暮らし | 69 | 12 | | 5 | 15 | 9 | 7 | 28 | 53 | 15 | 4 | 217 |
| 夫婦二人暮らし | 227 | 30 | | 33 | 44 | 8 | 27 | 111 | 197 | 38 | 6 | 721 |
| 家族と同居 | 173 | 48 | | 46 | 44 | | 19 | 105 | 128 | 41 | 10 | 614 |
| 健康 | | 123 | | 77 | 103 | | 50 | | | | 20 | 373 |
| 歩行困難 | | | | 4 | | | 4 | | | | 1 | 9 |
| 寝たきり | | | | | | | | | | | | |
| 病気療養中～通院治療 | | | | 5 | | | | | | | | |
| 施設入居 | 8 | 7 | | 2 | | 1 | 2 | 9 | 13 | 3 | | 45 |
| 携帯電話報告会員数 | 520 | | | 78 | 45 | 20 | 42 | | 325 | 79 | 42 | 1151 |
| 緊急連絡先報告会員数 | | | | | | 47 | | | 327 | 94 | | 468 |
| 消息不明者 | | | | | 1 | | | | | 1 | | 2 |

※消息不明届から2年経過した会員は、4月1日付けで強制退会となりました

夢多き80歳

郡山地区協 三坂スミ子

コロナにより外出できないもどかしさの中で、30年ぶりに安達太良山に79歳で挑戦し、登り切った。宇津峰山は10回以上登頂し、心身を維持している。

三坂の手帳にはびっしり日程・行事が書き込まれ、毎日毎日元気にお口と身体を動かしている。妹から「お姉さんはマグロだ!!」と言われるほど明るく楽しい人生を幸せかみしめながら、今人生を謳歌している。

8月23日が誕生日で80歳を越した迎えた三坂スミ子。1995年12月希望退職でリタイアした。

退職後の人生はまさしくバラ色の世界。家業の豆腐屋さんを手伝いながらも「秘湯の会」、そして、貸し切りバスで日帰り旅行。各地の華を求めて20年目を迎えた「華の会」と仲間と共に楽しんでいる。

カラオケ愛好会は地域の歌好きと共に結成し、20年を迎えた。現在は隔週4回の教室で、お父さん(85歳、福島県歌謡



「華の会」親睦旅行(最前列左から3番目が三坂さん)



協会認定指導員)指導のもとで、カラオケを存分に楽しんでいる。

朝早く3,000円で髪をセットし、派手なドレスを身に纏って参加する発表会は今も続いている。現在は社交ダンス、太極拳、卓球にも挑んでいる。

前に進んでいく好奇心こそが歳を感じさせない三坂の原動力。カラオケと多くの良き仲間たちが宝物だと語ってくれた。コロナが収束したら、「麦畑」歌うべない!!

【参考】マグロ：回遊魚のマグロは泳ぐことによって呼吸し、常に動き続けている。

(2時間に及ぶインタビューで、山ノ井事務局長が執筆)

会員紹介コーナー

レース鳩を育てる

二本松地区協 久納 敏夫

私が鳩の飼育を始めたのは小学校5年生‘64東京オリンピックの開会式を見ていた時、多数の鳩が放鳥(後で八千羽と知りました)されるシーンをTV中継で見ていたことから興味を持ち、その後飼育を始めました。今は120羽を飼育しています。



レース鳩ですので競技に参加しますが、無事帰宅(?)するまでは心配になります。年休を取って鳩舎の前で待っていたことも…。

途中で何らかのトラブルで帰って来なかったり、一緒に放鳥した仲間の鳩は帰って来たのに、自分の鳩は帰って来ないとやはり心配になります。

しかし、訓練で矢吹から放鳥したときのこと、自分は帰宅したのに鳩が帰って来ない、これは時間が掛かると思い、用事で出かけようとしたその時一斉に帰り、鳩舎の上空で円弧を描いていた時には感動しました。

更に西鹿兒島から約1,100キロの道のりを次の日の午後帰って来たときには、どうやって帰って来たのだろうと不思議な感覚にもとられました。

良いことばかりではなく、最近は帰ってくる率が常に落ち込んでおり、最近の全国レースでも3,000羽放鳥して帰ってきたのが89羽などという結果も出ています。途中でオオタカなどの猛禽類に襲われたり、途中脱落などもあるようです。電波の影響で方向が分からなくなってしまうのではとも言われています。鳩の飼育にも高齢化現象があり、若い人が興味を持たなくなってきています。鳩レースの会員も減少していますが、私も体力・気力のある限り続けたいと思っています。

新規加入会員紹介

2022年7月1日から8月30日までの新規加入者

- 【福島】荒井 聡
- 【福島】鈴木 輝雄
- 【郡山】酒井登美子
- 【三春】後藤 修



先輩! 宜しくお願いします!

【一頁五段目からの続きです】

二、万が一の災害に備え、会員の緊急連絡体制整備に向け取り組みととし、緊急連絡先の生協システムへの入力については、NIT労組、電通共済生協と協議していくこととします。

三、会員や地区協との双方向コミュニケーションの一層の充実を図るため、引き続き、全支部協における月曜日(金曜日)までの常駐体制の確立を推進します。

四、第二十回統一地方選挙(二〇二三年四月予定)については、全ての候補者の必勝に向け、取り組みます。

五、電通共済生協等と連携し、加入促進に積極的に取り組みます。

六、退職者の会結成五十周年記念事業を実施します。

県協ニュース「努力賞」に

退職者の会中央協議会では、毎年機関紙コンクールを実施しています。今回福島県支部協発行の「県協ニュース」が『努力賞』に選ばれました。

今後とも会員皆様の交流の場として、読んで頂ける紙面作りに努めます。